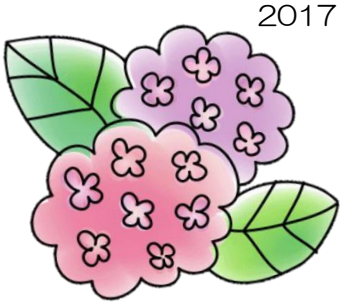
さっぽろ第２支部 支部だより第７号
発行／公益社団法人北海道看護協会　札幌第二支部
2017年9月

あじさい



広報出版委員会「はつらつ健康まつり」　平成 29 年 7 月 26 日(水)

市民の方の健康増強の為、札幌市社会福祉協議会主催の第7回「はつらつ健康まつり」が7月26日（水）札幌市社会福祉総合センターで開催され、協力参加しました。開場9時30分でしたが、すでに行列ができており、60歳以上の方が 260 名参加し、大いに賑わいました。健康測定、コグニサイズ体操、認知症相談、脳トレ、歯科相談、栄養相談、健康相談とブースで分かれていて、健康測定した方の健康相談を担当し、60 名程利用されました。

測定内容を中心に対応し、結果の数値を分かりやすく説明しました。骨を丈夫にするにはどうしたらいいのか？動脈硬化の進行を食い止めるには？体脂肪を減らすのは？など具体的な質問をされ、健康に対する意識の高さを感じました。

今回「はつらつ健康まつり」に参加し、札幌市の健康事業の一環に役立つことが出来てうれしく思いました。

教育委員会「ステップアップ看護研究」　平成 29 年 7 月 29 日(土)

平成 29 年 7 月 29 日（土）に「ステップアップ看護研究」が開催され、5 施設 7 演題 11 名の参加者がありました。

札幌医科大学保健医療学部看護学科から3名の先生をお招きし、午前中は、「看護研究とは」「看護研究計画書」「文献検索」の 3 つをテーマに、基本的な内容を講義していただいた後、自分たちの計画書の見直しや振り返りの時間を 40 分程設けました。午後からは、グループになり、自分たちの研究計画書について、それぞれの先生から指導を受け、研究の目的や方向性が明確になりました。

全体を通して、看護研究の意義やプロセスなどの理解が深まり、自分たちが行おうとしている看護研究の方向性が見え、アンケートでは、「有意義な時間だった。」「詳しくグループワークで話し合って疑問が解決した。」「計画書の浅さを身に染みて感じた。すぐに振り返りが出来て良かった。」など、評価の高い研修となりました。

今年度は、さらに充実を図る目的で 11 月に進捗状況の確認を行えるよう 2 回目を計画しました。参加満足度の高い研修となるよう教育委員一同、取り組んでいきたいと考えております。

平成 29 年度看護師職能研修会　平成 29 年 8 月 5 日(土)

平成 29 年 8 月 5 日(土)に「看護業務に活かすコミュニケーションマネージメント～にこにこ笑って働こう～」をテーマに、オフィスK代表小松明広先生をお招きし、様々な心理学的なコミュニケーションの考え方を講義していただきました。参加者は、123 名でした。自己肯定や自尊感情の重要性、セルフイメージの大切さ等、自分のあり方がコミュニケーションの円滑さに関連することを学びました。気持ちが前向きになり、日々の仕事に活かしていきたい内容で有意義な時間となりました。

講演会終了後の交流会には21名の参加がありました。研修会の感想、職場での人間関係や他職種との連携の難しさ、離職者が多いこと、施設と病院との看護の違いにとまどいがあるなど多様な悩みや意見が交わされました。めまぐるしく医療や福祉が変化する中、看護師はストレスを抱えながら健闘しています。少しでも気持ちが明るく楽になれるような研修会を企画していきたいです。

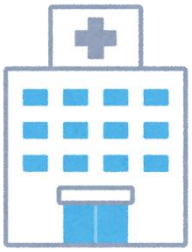
平成 29 年度看護管理者懇談会　平成 29 年 8 月 26 日(土)

平成 29 年 8 月 26 日(土)、札幌ビューホテル大通公園において札幌 4 支部合同看護管理者懇談会が開催されました。今年度の担当支部は第2支部で、他の支部のご協力のもと 229 名の参加がありました。

午前は竹内明子北海道看護協会副会長より「看護の動向」について講義がありました。北海道の看護の置かれている現状や、北海道看護協会の方針について講義して頂き、看護職に求められている役割や、今後の方向性を理解することができました。

午後は「地域包括ケアシステムの構築と看護の連携～看護職に期待される役割～」と題し、菊地伸先生に基調講演をして頂きました。先生は理学療法士という視点から地域コミュニティ活動を推進し、患者や家族を医療・福祉サービスに繋げるなど、予防的活動を実践されています。グループワークでは他職種や他施設の事を知ることの大切を再確認できたこと、少しずつ繋がり始めている地域の取り組みなどの報告がありました。

地域連携はまず身近なところから、お互いを理解することが必要であると感じました。まだ残暑残る1日でしたが、会員同士の良い情報交換の場となりました。



～働き続けられる職場づくり推進委員会～

小規模病院等施設間交流研修に参加して

今回は、研修に参加された方々からの感想を掲載します

小規模病院等施設間交流研修とは・・・

北海道看護協会各支部において、小規模施設等に働く看護職員が、施設間交流・実施研修を行うことにより、看護に質の向上や業務改善に努めると共に地域内連携を促進し、ネットワークの充実を図る目的としている事業です。

看護過程研修

6月27日に手稲渓仁会病院において、看護過程の研修を受講してきました。

自病院の使用しているアセスメントツールと異なるものがあったため、はじめは戸惑いもありました。しかし、看護過程の展開という意味では、プロセスの基本は同じであり、根拠を持ったアセスメントや倫理的思考と言語化できる力が必要であると思いました。

研修での学びを臨床でも活かすことができるよう、日々努力していきたいと思います。

札幌秀友会病院

S・S

院内感染防止研修

7月13日にNTT東日本札幌病院において、院内感染防止の研修に参加しました。

研修施設では、院内での感染管理のデータから、患者やスタッフを守るために必要な物品なども教えていただき、自施設において購入を勧めていくことの必要性を学ぶ事ができました。院内も見学させていただき、PPE（個人用防護具）の配置など、なかなか経験することができないことも、経験させていただきました。今回の学びを、今後の委員会活動に活かしていきたいと思います。

八木整形外科病院

F・M

《 編集後記 》

夏も終わり、秋の気配を感じるようになってまいりました。1年が過ぎるのが早く感じますね。季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますが、会員の皆様、お身体にはどうぞお気をつけてお過ごしください。
さて、札幌第2支部の各委員会では、活発に研修などを行っております。広報出版委員としても会員の皆様にホームページを通し報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

広報出版委員　　M・N